

No. 99

2016年（平成28年）

7月1日

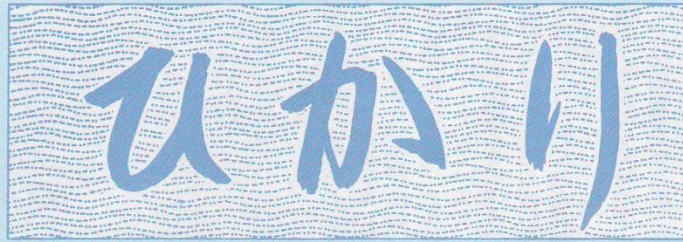
発行

浄土真宗本願寺派

和歌山教区日高組

責任者

藤本使朗



あれば鳴る
なれば鳴らぬ鈴の玉
中に六字が
あればこそ

妙好人 因幡の源左



宗祖降誕会（由良地区・教専寺）

ヒダカくん・ひかりちゃんのお話

『御文章』のお話 その三

ヒダカ 今のように大教団にされたのが蓮如さんです。蓮如さんのお母さんが家を出られて一年半後に正妻が来られ、応玄という男の子が生まれた。

ひかり この人の方が当時では後継ぎになる可能性は高いのね。

ヒダカ 蓮如さんが長男、応玄さんが正妻の子。家は母親の実家をあてにしなくては食べていけない。問題山積いや、蓮如さん全くの不利。

ひかり 蓮如さんはどんな生活をしていたの。

ヒダカ 蓮如さんも妻帯し、子供もいたが、部屋住の生活でした。我が子のオムツを近くの谷川で洗い、絹の小袖一つきりで、一杯の汁を親子三人で薄め、ひもじさに耐えていました。灯油が買えず、枝をいぶした黒木を灯りに、親鸞さまの残されたご本で勉強なさったのです。

ひかり なかなかの苦勞人なのね。

ヒダカ そして、両親から捨てられたという思いが少年蓮如には重くのしかかってくるのです。見守られず、期待されず、願われなかった少年は、「必ずや願われ、見守られ、励まされている私」に気づき、この思いを誰にも伝えたいという志を立てられるのです。

ひかり その思いから、『御文章』ができたのね。

ヒダカ そういうことです。四三才のときお父さんが亡くなられて、本願寺は後継問題に揺れた。

当然継母は、実子の応玄さんを推した。応玄さんは二五才で、得度もし、継職の法要を待つばかりだった。しかし、叔父の如乗という人が、各地の門徒や兄弟とはかり、本願寺の再興をできる人物は蓮如さんの他にないとの決定を下し、蓮如さんが八代目の門主を継いだ。

ひかり 継母の人生も寂しいわね。

（永原智行）

組長就任にあたって

即生寺住職 藤本 使朗



即生寺住職
藤本 使朗

このたび、平成二十七年年度日高組定期組合において、片桐組長の後任に選出され、就任することになりました。

片桐前組長は、一期四年間の在任中、新たに展開が始まった組実践運動「御同朋の社会をめざす運動」の推進事業に積極的に取り組まれ、現在においては既に第二期(一期三万年)五年目がスタートしています。

特に多様化する現代人の悩みに即応できる「話し合い法座」を取り入れた門徒推進員養成組連続研修会(れんけん)の第九期目が昨年より再開できましたことは前組長をはじめ、執行部担当ご住職方のご尽力に他なりません。誠にありがとうございます。

「れんけん」修了の暁には本山の中央教修にご参加いただき組内の門徒推進員としてご活躍いただけるよう支援してゆきたいと思ひます。

さて二期目の組実践運動では

とりわけ、寺院活性化対策として「子ども若者の支援」を重点に取り組むことを考えています。キッズサンガなどを通じて、仏の子どもの育成や子育て世代の若者支援など、次世代を担う人材を育成することは、宗門はもとより私たち組内寺院関係者の切なる思いでもあります。次に仏教壮年会活動がここ数年低迷しており、総会開催もできない状態にあります。新しい取り組みや既成の枠を超えて活動するなど、時代の変化に対応しながら創意工夫する必要もあると思われまます。遅くとも来年度には活動再開をめざしたいと考えています。

さらに、本年十月から十期に亘り「専如門主伝灯奉告法要」が厳修なされます。

日高組においても既に団体参拝の日程が決定され、いよいよ参拝者の募集を始めることとなります。今まで本願寺にご縁のなかったご門徒や、新しいご門主の年代に近い若者たちにも是非ともご参拝のご縁をいただきたく思っています。

以上、特に前述の諸活動に関して組内関係者のさらなるご協力をお願い申し上げます。組長就任の挨拶とさせていただきます。

日高組 新役員紹介

- 【組長】 藤本使朗(即生寺)
- 【副組長】 楠原晃紹(妙願寺)
- 永原智行(教専寺)
- 【教区会議員】
- 鈴木悟峰(善宗寺)
- 川瀬貞夫(妙願寺)
- 【組実践運動】
- 教学研修部門 —
- 僧侶研修部
- 部 長 亀井真竜(長寛寺)
- 副部長 藤田真雄(西教寺)
- 林 英雄(宝国寺)
- 連研・真宗法座
- 組三役・鈴木・亀井・岩崎・湯川・片桐・荻野
- 子ども若者育成部門 —
- 青少年部
- 部 長 荻野益次(浄明寺)
- 副部長 桒崎教信(寛性寺)
- 広報 —
- 広報部
- 部 長 松本秀法(信行寺)
- 副部長 北山憲昭(光専寺)
- 教化団体部門 —
- 総代会
- 部 長 岩崎法明(蓮専寺)
- 副部長 片桐淨映(円行寺)
- 上西偕行(念興寺)
- 仏教婦人会
- 部 長 菅原吉人(専福寺)
- 副部長 湯川千秋(円明寺)
- 仏教壮年会 執行部預かり
- 寺族婦人会
- 部 長 丸山妙子(一行寺)

法 悦 ク イ ズ

ごんぎょう
勤行は何のために行うのでしょうか?
次の1~3の中から一つ選んで番号を書いてください。

1. 亡き人に成仏してもらうため
2. 私の気持ちを亡き人に届けるため
3. 仏さまを讃え、お心に触れるため

98号の正解は、
「3. 眞実を見ようとせず、逃げていく人を追いかけて救い取る」
でした。正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

由良町 中恵 香織 様

ホームページから、または官製ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、ご感想・ご意見等を明記の上、下記までお送りください。

〒649-1221
日高郡日高町志賀2988
妙願寺内 日高組事務所

※抽選で10名の方に粗品を進呈いたします。

※締め切り日
平成28年9月20日(必着)

※発表は次号

専如ご門主 和歌山教区をご巡回

本願寺第二十五代ご門主 専如さま（大谷光淳師）は四月二十七日から二日間、和歌山教区をご巡回され、鷺森別院、日高別院をご巡拝されました。

二十七日には鷺森別院に約三百名が参集、まず同世代の僧侶・門徒七名とご懇

談、熱心な発言に耳を傾けられ、思いを話されました。記念式典ではご焼香、おつとめのあと、来たる平成二十八年十月から始まる「伝灯奉告法要についての「ご消息」をご親読されました。ご消息拝受、随行長挨拶、恩徳讃唱和に続いて記



念布教、記念行事が行われ、鷺森幼稚園年長児九十五名により「ののさまといっしょ」、「けんかのあとは」の二曲を合唱した後、子どもらにご門主からお言葉がありました。最後に「真宗

落語」笑福亭仁智さんが登壇し本堂内にあふれんばかりの笑いが湧き起こりました。当日は日高組から組長・教区会議員・住職・寺族・総代ら二十名が参拝し、来たる伝灯奉告法要に向けて気運が高まる行事であったと喜びのうちに帰坊しました。

続く二十八日には日高別院に新門時代以来七年ぶりにご巡拝され、約二百名が参集して前日と同様の記念式典・行事が行われました。また、両日にわたり「平成二十八年熊本地震」の義援金募金活動がなされ、多くの方々からご協力いただきました。（楠原晃紹）

本願寺鷺森別院二尊会並びに鷺森別院再建二十周年記念法要が厳修



鷺森別院では五月十三日（金）十六日（月）にかけて二尊会が勤められ、十五日（日）には「正信念仏偈作法―第二種―」による本堂再建二十周年記念法要が厳かに修行され、組長、前組長の二名が出勤した。

第二十五代専如ご門主
日高別院ご巡拝

四月二十八日午前九時、専如（大谷光淳）ご門主が日高別院にご到着になり、隣接する御坊幼稚園園児が

出迎えました。園児の「ようこそ御坊へお越しくださいました」の言葉にご門主さまは、「ありがとうございます」と笑顔でお応えくださいました。

この度のご巡拝は、平成二十六年六月六日に法統継承式が行われ、第二十五代門主を継承した報告と、今年十月から始まる伝灯奉告



法要に向けての機運の高揚と法要の円成を期して行われるものです。全国六十二会所（別院・教堂）を巡拝され、記念式典と記念行事、懇談会が開催されます。

記念式典では、「御消息」（ご門主さまから私たちへのお手紙）が親読され、「阿彌陀如来のお慈悲を聞信させていただき、その有り難さ尊さを一人でも多くの方に伝えることが大切です」等と述べられました。その後の記念行事では、御坊幼稚園卒園者による二重唱、幼稚園母親有志による「仏教讃歌」が披露されました。

園児（年長・年中児三十七名）の、「グーチョキパーでなにつくろう」の歌では、ご門主さまも園児や参拝者と一緒に手遊びを行われ、温かな笑顔で園児に接してくださいました。最後に元気いっぱい「手のひらを太陽に」を歌った後、ご門主さまから、「ありがとうございます」がこの本堂におられる方たちを元気に、そして楽しくしたと思います。これから

もみ仏さまのお話を聞いてお友だちと仲良く過ごしてください」とお言葉をいただきました。こころ温まるご門主さまのご巡拝でした。（菅原吉人）

日高組通信

☆行事報告

◎親鸞聖人誕生八五〇年、立教開宗八〇〇年、第二十五代専如門主伝灯奉告法要記念、降誕会、灌仏会慶讃法要が厳かに修行される（阿戸 教専寺）

由良町五ヶ寺による親鸞聖人降誕会に合わせ、標記法要が由良町阿戸 教専寺

にて五月十五日（日）厳修され、町内外から約八十名の門信徒らが集った。正信偈作法による法要後、奈良教区やなせなさんが「いのちのふるさとを考えると」という講題で登壇し、美しい歌声と共に参拝者にご法義を伝えられた。

☆行事予定

◎日高組フルーツカッティング開催のお知らせ
七月三十一日（日）志賀 即生寺

八月七日（日）江ノ駒 専福寺
詳細は決定次第ホームページに掲載します。

◎日高組キッズサンガ開催のお知らせ

八月二十日（土）比井長覚寺にて開催予定。
◎教区主催第三ブロック門信徒総研修会（聞法のつどい）
紀南組運営担当で田辺シテイプラザホテルで九月三日（土）開催予定。

「平成二十八年熊本地震」
災害義援金のお願い

四月に熊本県を震源とする大地震により被災された方々の一日も早い復興を願います。
本願寺では「平成二十八年熊本地震」において災害義援金を募るため、「災害義援金」の受付をしています。つきましては、募金にご協力いただけますようお願いいたします。

宗本願寺派 たすけあい運動募金
二、受付口座番号 郵便振替〇一〇〇〇一四一六九九五七
加入者名 たすけあい募金
※通信欄に「熊本地震」と記入ください
問い合わせ先 浄土真宗本願寺派伝道本部
社会部（災害対策担当）

一、募金の名称 浄土真